

1. 本校の道徳教育重点目標について

昨年度の学校評価を受け、言葉遣いやきまりを守る項目で評価が下がっていたことから、今年度の道徳教育の重点目標は〈礼儀〉〈規則の尊重〉としました。各学年の目標は表のようになっています。

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
礼儀	気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。	礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。	時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。
規則の尊重	約束のきまりを守り、みんなが使うものを大切にすること。	約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。	法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。

(学習指導要領より)

2. 第4学年の本日(9/12(土))の道徳授業について

(1) 授業の内容

主題名：みんなの場所を(内容項目 C規則の尊重)

教材名：「日曜日のバーベキュー」(出展「新訂 新しいどうとく4」東京書籍)

ねらい：約束や社会のきまりの意義を考え、守っていかうとする態度を育てる。

(2) 授業のポイント

○導入の工夫

授業後半で場面・対象を広げられるように、導入で学校以外の様々な公共の場所や物について意識を広げておき、黒板に残しておくようにした。

○写真による振り返りの工夫

事前に校内できまりを守っている児童の様子を撮影しておき、その行動に込められた思いを考えられるように呼び掛けて写真を提示した。

(3) 授業を振り返って(児童の様子)

○導入の工夫により、資料の中の場所(川原)以外でのきまりや約束について自分の経験を振り返ることができた。

○校内での具体的な行動を映した写真を見ることで、きまりや約束を守るとは、他者への思いやりの気持ちが深く関わっていることに気付いた。

